

たけのこ

2010 OCTOBER 10 / 第13号



医療法人 久盛会

秋田緑ヶ丘病院

〒011-0911 秋田市飯島字堀川 84 番地 TEL (018) 845-2161 FAX (018) 846-6942
ホームページ <http://www.kyusei.or.jp/>



理念

友情を囲り、「生きる喜び」と「希望」を育み、「安全・安心・信頼の医療」を実現します。

指針

1. 医療の安全と質の向上に努め、患者さんに信頼される医療を提供します
2. 医療人の育成を図り、医の倫理の高揚に努めます
3. 患者さんの人権と個人の尊厳を守り、親切、丁寧な医療サービスに努めます
4. 社会の変化・医療の進歩に対応できるよう自ら研鑽に努めます
5. 医療を通して、地域社会の一員として貢献できるように努めます
6. 精神障害に対する偏見や誤解の解消に努めます



よさこいダンスグループ「闘心乱華」の皆様

寒 露



医局 鈴木 康男

今夏は、秋田においても猛暑に見舞われる日々が続き、体調を崩す方が多かったのではないかと思います。また台風が直撃するなど異常気象を体感した夏でした。そして、いつもより長かった夏が終わり、北国の短い秋がやってきました。秋といえば皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。食欲、スポーツ、読書、シルバーク、月見、澄んだ青空、そして女心などでしょうか。これに泣かされた男性の気持ちは痛いほどよく分かります。私の失恋話はさておき、季節感を表す言葉に、二十四節気というものがあります。これは1年を24等分したもので、自然や気象に密接した暦として、農作業の目安とされてきました。その一つである「寒露」は、今年は10月8日にあたります。朝露が一段と冷たくなり、秋の深まりを感じさせる頃であり、ツバメなどの夏鳥、ガンなどの冬鳥の渡りが盛んになります。そして秋の爽りの収穫の頃です。

入院が長期にわたる患者さんや臥床がちな患者さんは、季節の移ろいを身体で感じる機会が多くはありません。また私たち職員も、日々の業務に追われ、自然と深く関わるのが難しくなっています。そこで、この二十四節気を日常生活の会話やメールなどに取り入れてみてはいかがでしょうか。季節感のあるコミュニケーションによって、患者さんたちの生活がより実りあるものになれば、と考えます。それでは皆さん、ダイエットや恋の痛みは忘れて、この豊かな秋を存分に楽しんでください。

夏祭り



作業療法士
石川 麻裕

8月17日に夏祭りが行われました。会場へ向かう通路や会場は、手作りの仙台七夕や竿灯などで美しく盛大に飾り付けられ、夏祭りの

雰囲気を感じてくれました。

午前の演芸披露は、女子高生のよさこいダンスグループ「闘心乱華」をお招きし、約20名の演技を披露していただきました。息の合った踊りは迫力があり、素晴らしいものでした。女子高生の若いパワーあふれるおどりと音楽に合わせて患者さんたちも手拍子をしたりと、とても楽しまれていました。また、もうひとつの演芸披露として、患者さん6名と作業療法科スタッフとで結成された合唱グループ「ハスキー」の発表がありました。OTプログラムで一生懸命練習した合唱曲5曲を、緊張しながらもダンスや手話を交えて発表してくれました。綺麗なハーモニに、会場から温かい拍手がおこりました。午後からは、夏祭りらしい賑やかな雰囲気でもカラオケや模擬店、ゲームが行われました。昨年に引き続き、模擬店ではノンアルコールビールが提供され、患者さんたちにも大好評でした。患者さんは女性は綺麗な浴衣を、男性は甚平を着て参加してくださる方も多く、夏祭りを楽しんでいただけたようでした。今後も患者さんに喜んでいただけるものを企画していきたいと思えます。



敬老会を行いました



作業療法科主任
忠村 裕

先日9月19日(日)に西1病棟において「平成22年度敬老会」が実施されました。4回目の実施となる今回はフイレリア アロハラニハワイアンフラ教室の9名が来院し、フラダンスを披露して頂きました。

華やかな衣装と優雅な踊りにより、病棟内が柔らかく温かい空気に包まれたように感じられました。また踊りの合間では踊り方のレクチャーがあり、そのレクチャー後には笑顔を見せながら踊りに合わせて手を動かす患者さんとそのご家族、そして患者さんを盛り上げようと踊るスタッフの姿がありました。さらに普段表情の変化や感情が見られにくい方からも反応を引き出すことができ、「楽しい」という感情を抱きながら踊りを終えることが出来たのではないかと思います。

フラダンスが終わった後は簡素ではありますが、茶話会の場を設けました。茶話会の中では普段食べる機会が少ないお菓子をプレゼントとして提供させて頂きました。食べることは大きな楽しみの一つであり、フラダンスと共に喜んで頂けたのではないかと考えています。ご家族と一緒に召し上がることができた方はより一層の喜びがあったのではないのでしょうか。

入院生活により、ご家族や外部社会との関係が疎遠になりやすい環境に置かれてしまっています。敬老会をはじめとする病棟行事を通じて、認知症患者さんご家族や外部社会との関係を保ちながら楽しむことができる機会をこれからも提供していきたいと考えています。



高年齢者複合施設 秋田高城体験記

東京都町田市
高年齢者複合施設
秋田高城体験記
西1病棟看護士 豊島 康弘



私は、2月11日から4月10日まで秋田高城へ出向する機会を頂くことができました。初めに、機会を頂いた理事長、院長、本部長、看護部長、病棟スタッフ、病院関係者スタッフに感謝申し上げます。

昨年私は、秋田高城の話を聞いて自分の中から看護の幅を広げる為、そして4月から始まる看護通信大学の学習の参考になればと考え、家族とも相談して住んだことのない東京に行くことを決意しました。又、病院からも2月から出向するようにとのことで秋田高城勤務が実現しました。

私の高城での勤務は、小規模多機能施設で、グループホームとは違って通いも泊まりもできるといふ利用者さんにとっても、家族にとってもとても有り難いシステムでした。そのため、スタッフも利用者さんの都合のよい時間で送迎したり、泊まりの希望があれば急に連絡頂いても泊まる事が可能であったため、急に夜勤になる事がありました。又、夜勤でなくても自宅待機のスタッフが必ず1名いて何か利用者さんの家族から連絡が入っても対応できるようになっていました。その中で私の仕事は、利用者さんの健康管理と看護行為の必要な部分を行うことでした。看護行為を行うときは、病院と違い医療材料が揃っておらず、ある物品で処置していくことが、自分にとつととても勉強になりました。又、看護行為や処置を行う時、医師や先輩看護師がいらないということが、自分には一番

の不安でした。今までみてきた症例や学校で学んだことを思い浮かべて行いました。判断後、果たしてそれで良かったのかと思うことがあり、経過が気になり休日でも状態を確認することがありました。秋田では、体験したことのない緊張感で毎日過ごしてきました。

プライベートでは、理事長に東京でなければ食することの出来ない、また自分一人では絶対に食することの出来ない料理を食べさせていただきました。最初に食べたのが、随息居での中華料理でした。円卓で、あまりみだことのない料理を堪能しました。次に、新宿のセリナでした。最高級の食材を一流シェフが目の前で、焼いて頂くのを見られたことで学んだことは、ちよつとした動きでも無駄のないプロの技に感動しました。料理も絶品、ワインも絶品そして東京を一望できた夜景、夢の中にあるような感じでした。最後は銀座久兵衛へ行き、食する前に魯仙の器を初めてみて感動しました。その後、料理を堪能しました。一流の職人技に感動し食することを忘れそうになりました。食材も絶品でこれも又、夢の中にいるような感動をしてくれました。その他に、あさりラーメンも絶品でした。秋田では、味わえないものばかりでした。

休日には、町田の薬師池公園に自転車で30分かけて梅を覗に行ったり、日大三高の桜を覗に行ったりしてきました。又、町田の駅まで2時間歩き町並みを覗きました。住宅街でありながら緑の多い町でした。その他に、川崎、千葉、埼玉と遊びに行きとても楽しい日々を過ごさせて頂きました。

あつという間の2ヶ月間でしたが、とても充実した出向でした。今回の出向で、経験したことを新しい病棟で活かしていきたいです。

最後に、出向させて頂き本当に有難う御座いました。



物忘れ外来 スタート



統括顧問
坂本 哲也

平成22年10月から物忘れ外来を本格的にスタートさせます。物忘れは歳を重ねるに従って誰でも見られる加齢現象ですが、その中に記憶・判断・思考などの知的能力に支障をきたし、日常生活に問題を生じることがあります。物忘れは必ずしも認知症に直結しているわけではなく、なかには治る病気もあります。また専門的診断と治療によりその患者さんにあった治療あるいは介護などを選択できるようなサポートすることが大事です。我々グループは認知症に関するいろいろな医療資源をもっています。大いに利用してください。

防災訓練



平成22年9月24日(金)14時から前期総合防災訓練を、秋田市消防本部の署員3名が立ち会いの下、夜間の火災を想定して行いました。避難訓練後は、消火器・放水訓練も行いました。

今後も防災意識を高めるよう努力し、火災発生の予防に努めます。

新デイケア棟工事着工しました

新デイケア棟の工事を着工しました。竣工は今年の12月を予定しております。



部署紹介

北2病棟のご紹介



北2病棟師長
北 隆行



閉鎖病棟という特殊な入院環境となりますが、主治医の許可のもと自由に外出することも可能です。また、充実した療養生活を送って頂けるように、作業療法への参加の促しや病棟レクリエーション・院外レクリエーションなどを取り入れ、入院されている患者さんの処遇や倫理の問題にも配慮しております。

看護師歴、何十年といったベテランナースが揃っていますので、患者さんの訴えや悩みを傾聴し、不安や苦痛の緩和が図れる関わりが出来る様日々心掛けております。

北2病棟は、精神療養病棟で男女混合60床の閉鎖病棟です。20代〜80歳代と年齢層も幅広く様々な症状の患者さんが入院されています。



栄養科 だより



栄養科 主任代理 大石 裕子

今年の夏は例年より長い夏で、猛暑、酷暑が続く、ようやく待ち望んだ秋、味覚の秋が到来です。

何を食べても美味しい季節、酷暑を乗り切った体を癒すために体に優しい、美味しい食事を食べて頂きたい。

栄養科では週3回選択メニューを病棟の方々の協力で行い好評を得ています。果物の出回る季節に病棟に出向き、患者さんの前でジュースを作って提供し、目で新鮮さ、口で美味しさを味わって頂きました。

新米の季節です。稲の刈り入れ次第、新米を農家から届けてもらい、他より一足早く食べて頂くよう心がけています。

彩り良い果物、多種類のきのこ、旬を告げる食物がたくさん店頭に並んでいます。

これらを献立に取り入れ、五適(適材、適量、適技、適温、摘心)を心がけ、皆様の口元に美味しい食事を運びたいと日々献立とにらめっこをしています。

リレーこらむ

復活！緑ヶ丘病院野球部



野球部主将
北1病棟看護師
高橋 賢司

十数年前まで、当院野球部は秋田県病院対抗野球大会で準優勝をするほどの強豪でした。しかし、最近では全県大会出場はもちろん一勝するのでも大変であり、その活動も年1回の病院対抗野球大会の予選に出場するのみでした。最後の全県大会出場は6年前で私が入職してから出場はありませんでした。

しかし、昨年からは長谷部副院長を監督に迎え若いメンバーの加入が多くありました。また、病院のご好意によりユニフォームを一新しヘルメットなどの道具類も購入していただきました。そのおかげもあり昨年は病院対抗野球地区予選では決勝戦まで進み、他の大会にも招待されるようになりました。そして今年も遂に、10月に行われる秋田県病院対抗野球全県大会への出場を6年ぶりに決めることができました。また、昨年同様他の大会への出場機会や練習試合の数も増え活動の場が広がっています。かつては高校球児だった職員が動かない体に鞭をうち頑張っています。また、野球を通じて職員同士が交流を深められる良い機会となっております。

当院野球部は、病院の皆様を支えられ活動をさせていただいています。主将として選手一同に代わり感謝申し上げます。これからも温かいご声援をよろしく願います。

外来診療のご案内

精神科・心療内科・内科・麻酔科

◆初診の場合

〈受付時間〉 午前 8:45～11:30まで

〈受付窓口〉 受付・総合案内

〈診療時間〉 平日（土曜日は午前中のみ）
9:00～12:00 / 14:00～17:00

但し、救急の場合はその限りではありません。
（午後に予約制による診察を行っています。）

※内科は土曜日休診、麻酔科は平日午後・土曜日休診。

〈必要なもの〉 保険証

※受給証をお持ちの方は併せて受給者証を提示してください。

◆2回目以降受診（再診）の場合は

〈受付窓口〉 外来・再診受付へ

〈必要なもの〉 診察券と予約券

◆専門外来について

「うつ・ストレス外来」「女性専門外来」「思春期外来」「物忘れ外来」「睡眠障害外来」「てんかん外来」「PTSD外来」「頭痛外来」こちらの外来診療については完全予約制となりますので受付までお電話下さい。



毎月1回は保険証の確認をさせていただきますのでご提示願います。

クレジットカードでの支払いが可能です

患者様へのサービス向上の1つとして、診療費等の支払いについては、JCB、AMERICAN EXPRESS、VISA 及び MasterCard の4ブランドのクレジットカードがご利用できます。クレジットカードが利用できることにより、支払方法の選択幅が広がるほか、現金の持ち合わせがなくても安心して受診できるようになります。

満足度調査を行いました。

平成22年8月1日～1ヶ月間、外来患者さんを対象に当院に対する満足度調査を行いました。

全科合わせて250件を超える様々なご意見をお寄せ頂き、誠にありがとうございました。

この貴重なご意見等は今後の病院運営に役立たせて頂きます。



相撲

8月9日、大相撲秋田場所の開催に合わせて、当院関連施設の三楽園に人気力士の日馬富士関と高見盛関が来ました。

当院の患者さんと職員約30名が見学に行きました。会場には多くの報道陣と観客で溢っていました。

患者さんからの「好きな食べ物は？」との質問に「寿司と…あと、きりたんぼです！」と話す、サービス精神いっぱいの高見盛。優しい笑顔で声をかけてくれた日馬富士。

サインや握手に快く応じてくれて、とてもステキな力士のお二人でした。



こんにちは。新人です！

西3病棟 看護師 下田 祐也



はじめまして、8月より秋田緑ヶ丘病院西3病棟に勤務しております。下田と言います。はじめての看護分野で戸惑うことも多いのですが、自分なりに頑張っています。緊張していきなさいと思いますので、みなさまよろしくお願ひ致します。

宮繕管理課 高橋 利治



9月1日より宮繕管理課に配属になりました。管理業務は初めてとなりますが先輩たちのおかげで充実した日々を過ごしております。慣れないことも多いかと思いますが職員や患者さんに安心していただける環境作りをしたいと思います。よろしくお願いいたしますのでご指導よろしくお願い致します。



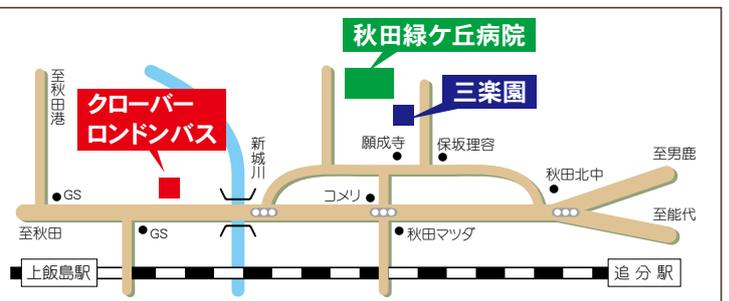
第10回 ふれあい看護体験

平成22年8月10日、日本精神科看護技術協会秋田県支部主催「こころの日」の関連事業として「第10回ふれあい看護体験」を開催しました。毎年「県民が

医療関係者との交流や患者さんとのふれあいを通して、「看護」「人の命」「精神障害者」について理解と関心を深める」ことを目的として開催されています。当日の参加者は18名で秋田市4校男鹿市1校の高校生の皆さんです。

精神科病棟という未知の世界に初めは不安な様子も見えましたが、食事介助を体験したり作業療法に参加したりと、患者さんとふれあうちに笑顔も見え始めました。病棟だけではなくクローバー就労継続支援事業所も見学し、精神科医療と地域支援についても知識を深めてもらえたようです。

参加者からは「精神科について持っていたイメージが変わりました。看護師になりたいという気持ちがさらに強くなりました。絶対に看護師になります！」などの感想が聞かれ、主催者側も参加者から元気をもらった、充実した一日となりました。



編集後記

秋といえば、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋等、活動しやすい季節ですね。皆さんにとって、秋はどんな季節でしょうか？ 連日の猛暑が懐かしいと思えるような爽やかな秋晴れを期待します。